

こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします

むすこ

一ばんかわいい息子が、
どれいに



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ
改作者: M. Kerr; Sarah S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
また きよか
又はプリントは、許可されています。



むすこ

息子

おとうと

イサクは、ほんとうにしあわせでした。なぜって、

いえ

ヤコブが**家**にいるのですから。それに、いちどは、**弟**

ころ

ヤコブを**殺**そうとしたエサウでさえも、

おお

むか

大よろこびでヤコブを**迎え**

てくれたんで

すからね。



むすこ

けれども、ヤコブの息子たちは、しあわせじゃなかつ

おとうと

たのでした。それは、かれらの弟 ヨセフが、

とう

こ

お父さんのいちばんかわいい子

だったからです。



とき

じぶん

はなし

ある時ヨセフは、自分のゆめの話をしました。それ

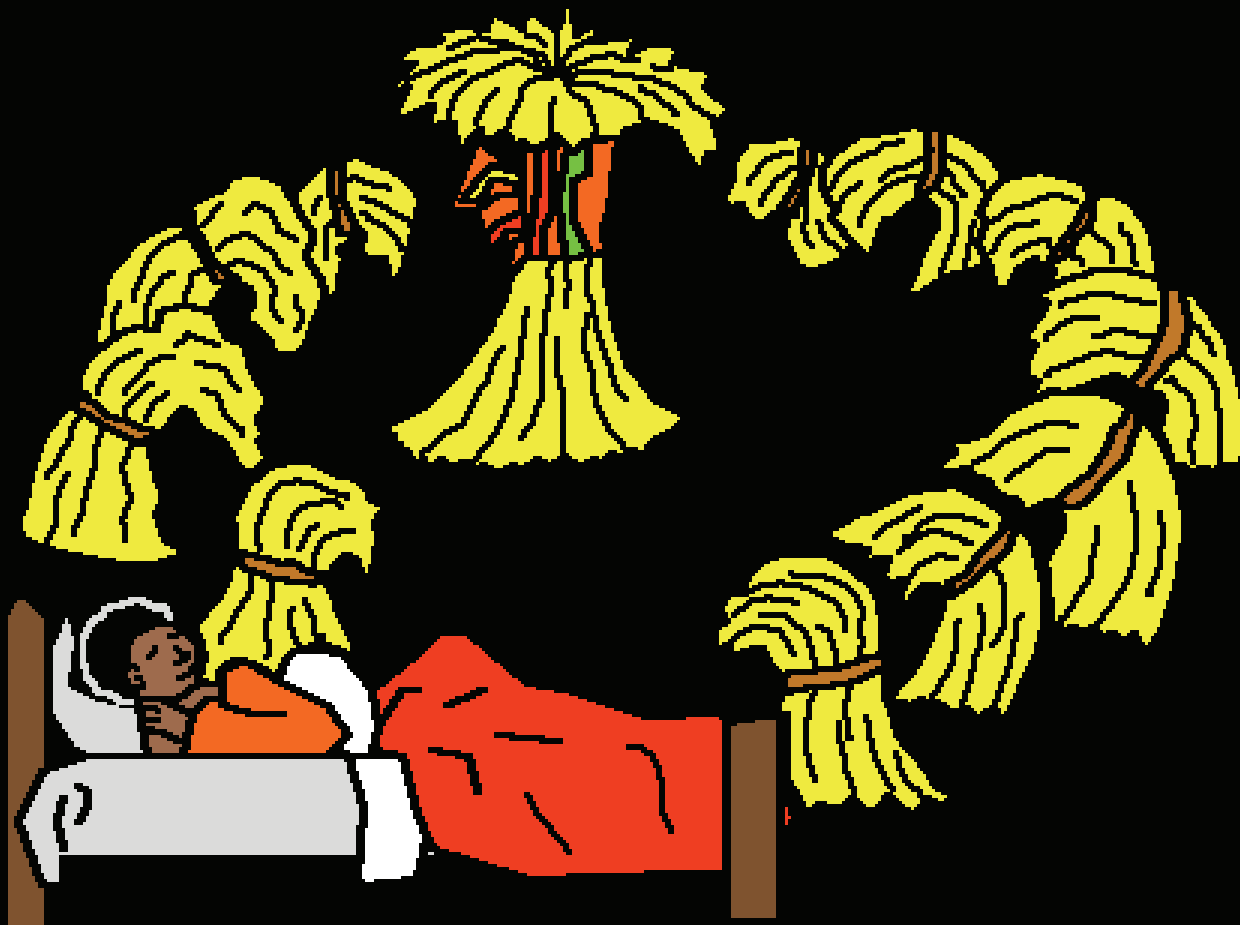
き
にい

を聞いた兄さんたちは、かんかんにおこりましたよ。

そのゆめというのは、
こうでした。



わたし たば たか た にい たば
「私のこくもつの束は、高く立ち、兄さんたちの束
が、おじぎをしたんだよ。」このゆめは、ヨセフが、
にい
兄さんたちよりも、もっとえらくなるということを、
い
言っていました。



にどめ

ヨセフの二度目のゆめは、

たいよう つき ほし

太陽と月と星が、

ヨセフにおじぎしたとい
うものでした。このゆめ

とう

には、お父さんヤコブも
おこってしまいました。



ヨセフは、
じぶん どう
自分をお父さんや、
かあ にい
お母さんや兄さ
んたちよりも、
もの
えらい者ということ
になりますから。



ひ

ひろ ぼくそうち

ある日、ヤコブは、ヨセフをとおくにある**広い**牧草地

へ行かせました。そこでは、兄さんたちが、ヒツジや

ヤギの**群れ**の**番**を
していました。



にい

ほう

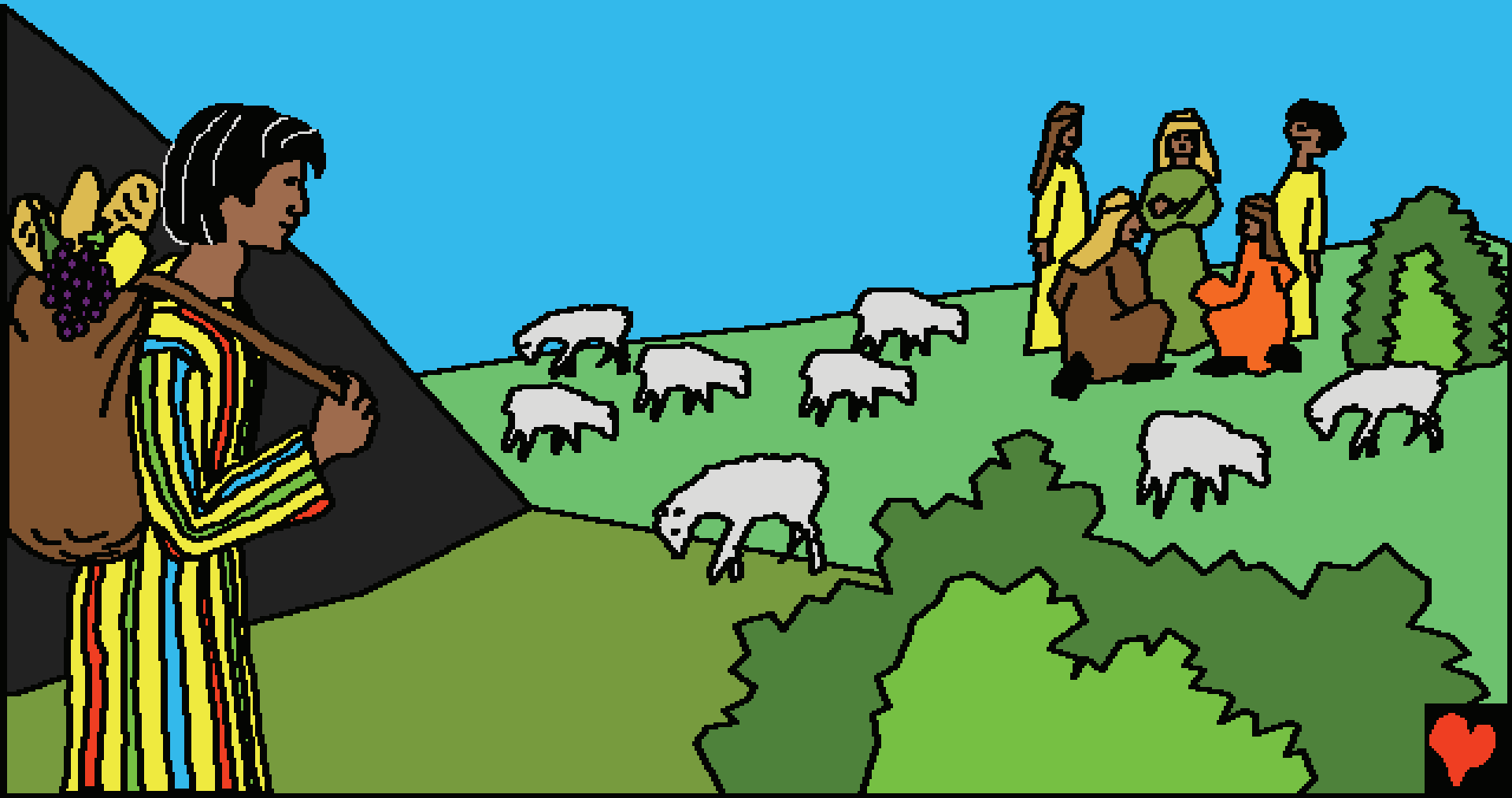
兄さんたちは、ヨセフがこちらの方へやってく

み

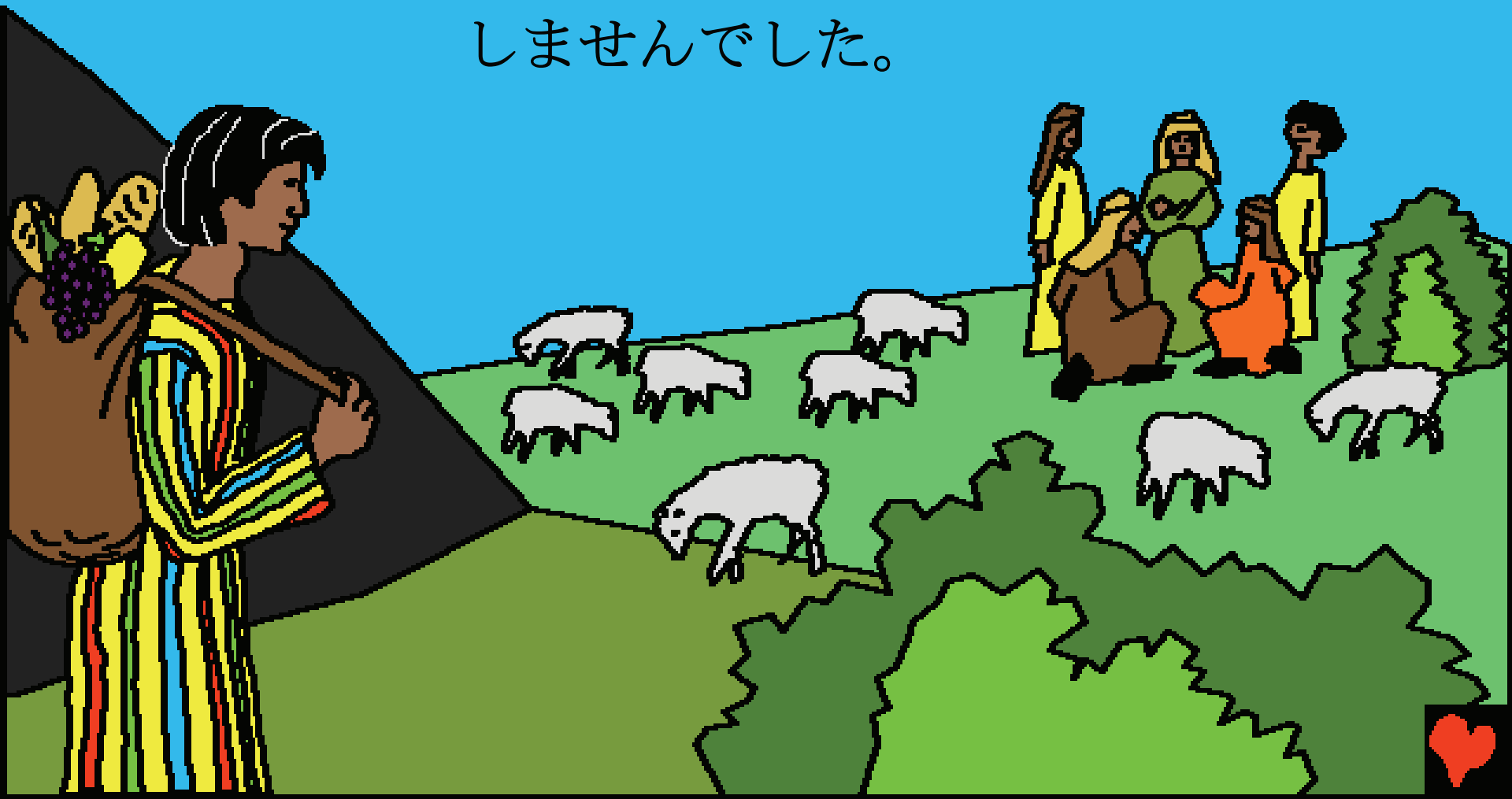
み

るのが見えましたよ。「おい、みんな見ろよ。

ヨセフがこちらへ向かってくるじゃないか。



あのゆめ^み見るやつを、やっつけてしまおう。」
「そうだ、そうしよう！」ヨセフは、あぶないこと
が^ま待っているなんて、^{おも}思いも
しませんでした。



いち うえ にい

はんたい い

一ばん上の兄さん、ルベンは反対して言いました。

「みんな、それはよくないよ。決して血をながしてはいけないよ。」
そして、「そうだ、
み
見ろよ。」



あな なか な い
ここに穴がある。この中に、ヨセフを投げ入れてしま
おうじゃないか。」と言いました。ルベンは、夜に
ならないようにヨセフを助け
出そうと思いました。



いよいよ、
ヨセフが、やっ
てきましたよ。

にい

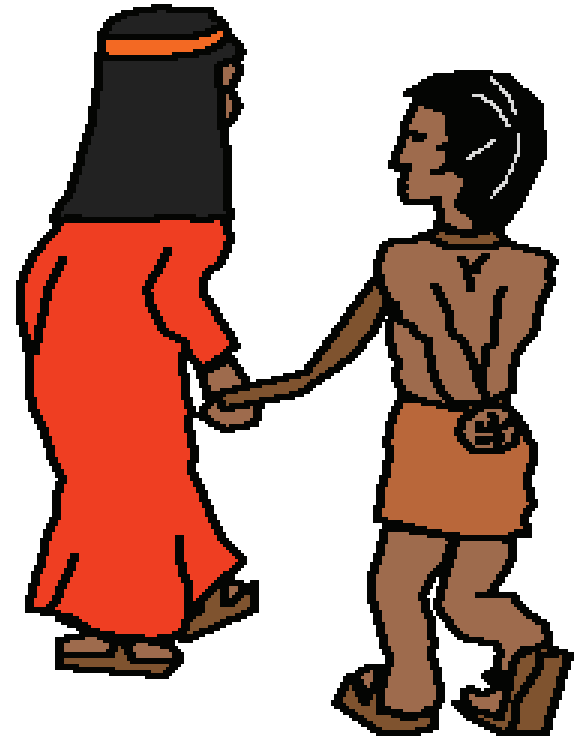
兄さんたちは、
ヨセフにおそいか
かり、かれのきれ
いなふく服をはぎとっ
てしまいました。



それは、^{ちち}父ヤコ
ブがかわいい^{むすこ}息子ヨ
セフのために、^{つく}作っ
た^{ふく}とくべつの服^{にい}でし
た。それから、兄
さんたちは、ヨセフ
をおそろしく^{あな なか な}ふかい
穴の中に^{あな}投げこ
んでしまっ
たのです。



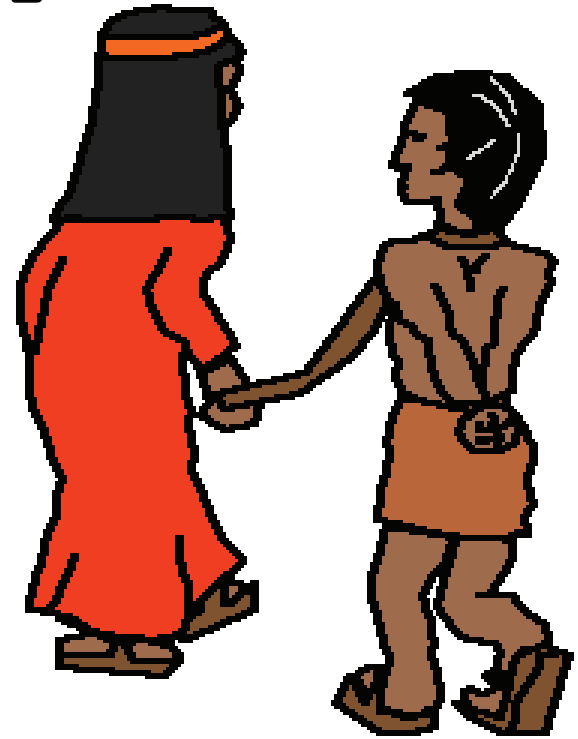
あな
ルベンが、穴のところから、
しばらくはなれていたときのこ
とです。ラクダをつれたキャラ
たいとお
バン隊が通りかかりました。



かれらは、
い
エジプトへ行く
とちゅうです。



「そうだ、ヨセフをあの人たちに売
ってしまおう。」兄さんの一人、
ユダがさげびました。そして、
キャラバン隊たいの人たちと話し合あ
いました。とうとうヨセフを、



ぎんか
銀貨20まいで、
う
売ってしま
いました。

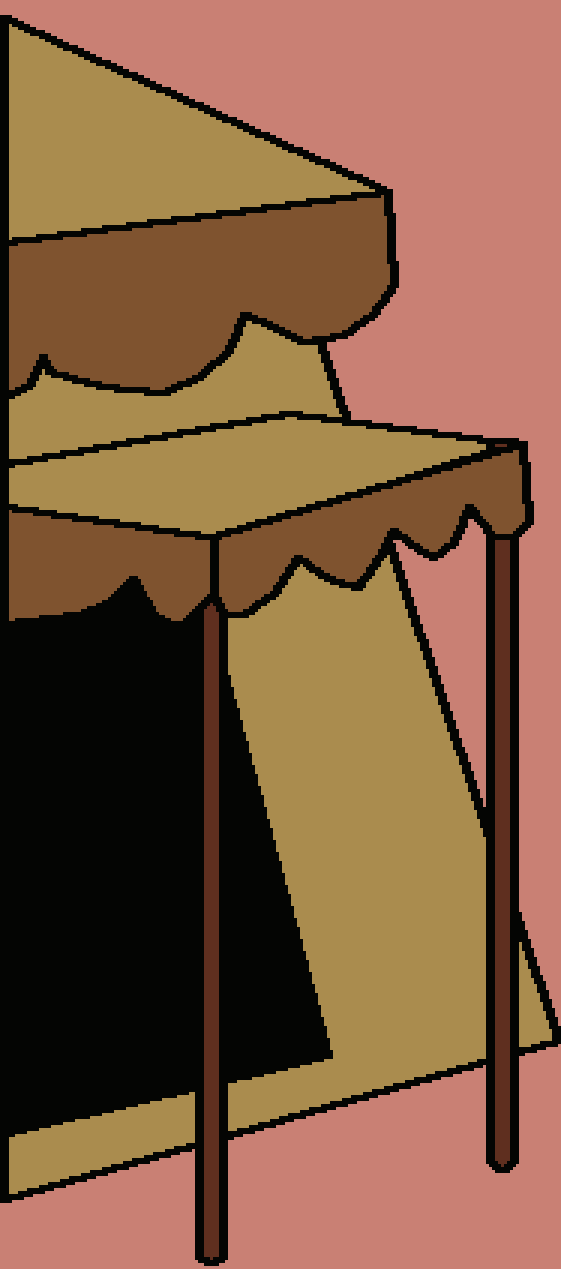


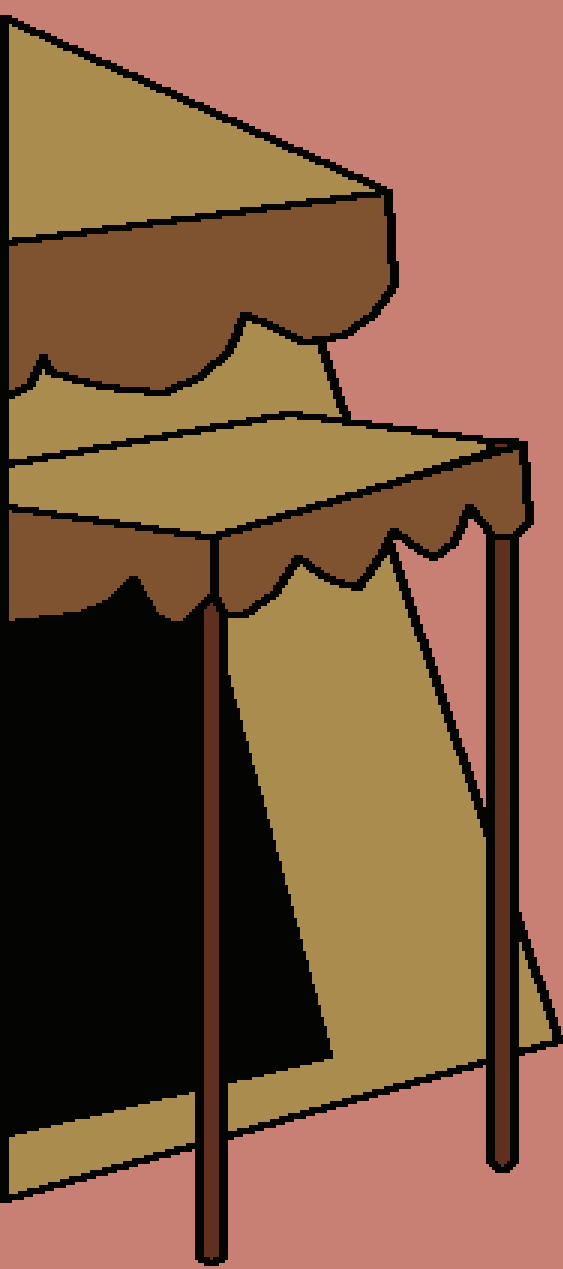
ヨセフは、おそろしくてもう目にはなみだがいっぱい
です。だんだん遠くはなれていくお父さん、
お母さんのいるなつか
しい家や土地を、

ただぼんやりとながめ
ていました。ゆっくりとゆ
っくりとすすむラクダにつれられて・・・。



とう うわぎ
「お父さん、これはヨセフの上着でし
ち
ょうか。血がついているのです
けれど……。私たちは、
うわぎ の
この上着をあら野でみ
つけたのです。」





にい とう
ひどい兄さんたちは、お父さんの
むすこ
ヤコブに、かわいい息子ヨセフが、
けものにくろされてしまったと
しん
信じさせました。ヤコブ
は、あまりのかなしさで、
ふく な
服をひきさき泣きつづ
けました。だれもヤコ
ブをなぐさめることは、
できませんでした。



ひとり

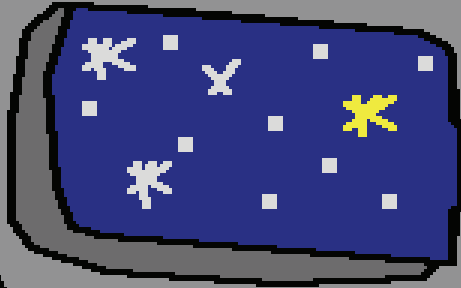
エジプトで、一人ぼっちになってしまったヨセ

ふあん

フは、きっと不安でおそろ
しかったにちがいありま
せん。たぶんヨセフは、

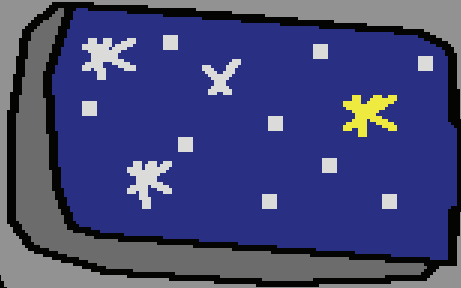
いえ

みんなのいる家に、
もどりたかったでしょう。
でもかれは、にげだすこ
とができなかったのです。



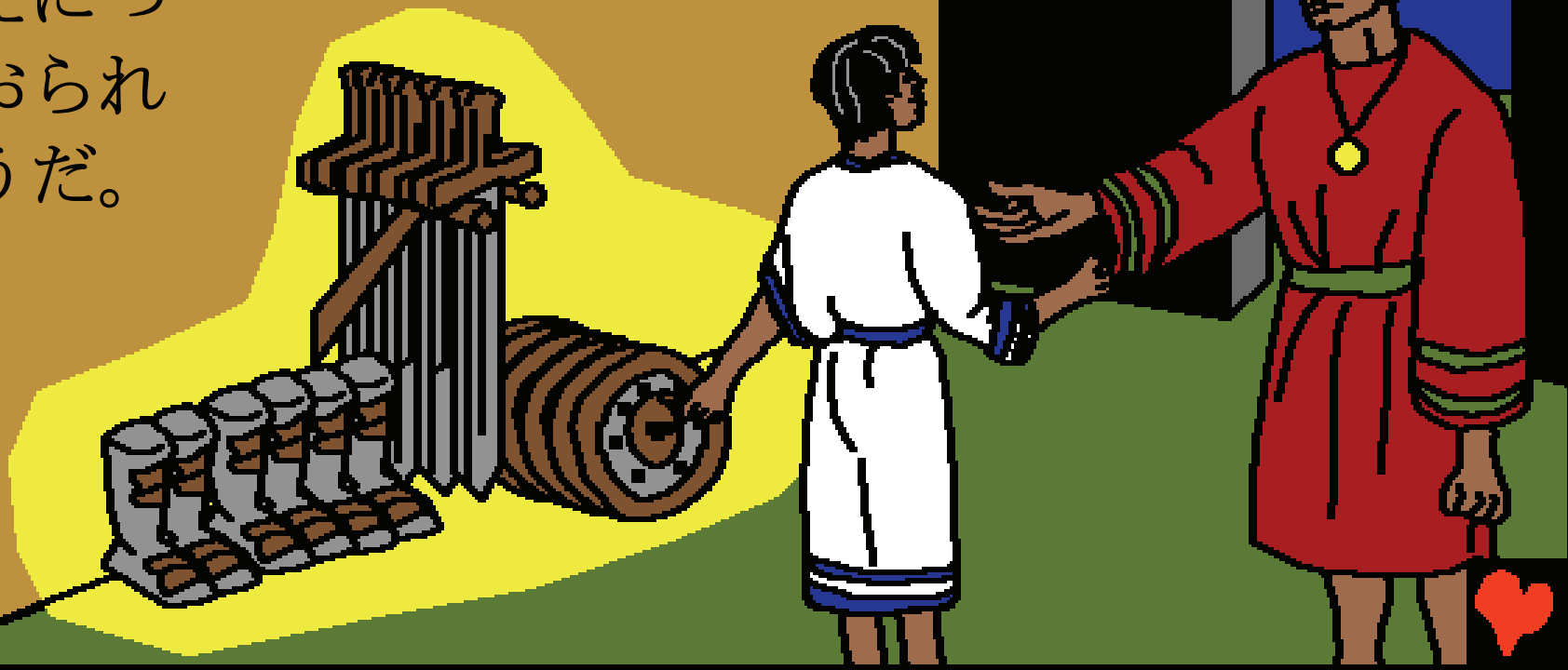
くに やくにん じん
かれは、この国の役人であったエジプト人ポティ

いえ
ファルの家でどれいとなり、
はたらきました。ポティ
ファルは、ヨセフがいつも
いっしょうけんめいはたら
み あんしん
いているのを見て、安心して
てなんでもまかせられると
おも
思いました。



「ヨセフ、おまえのすることは、
なんでもみんなうまくいくんだ
ひ
ね。」ポティファルは、ある日、
い
ヨセフにこう言いました。

かみ
「神さまが、
おまえにつ
いておられ
るようだ。」



さあ、これからは、おまえを

しょうにん いち

もの

使用人の一ばんえらい者としよう。

わたし

私のしごとのをすべてをまかせ、

しょうにん

しゅじん

ほかの使用人みんなの主人

としよう。」



かみ

神さまは、ポティファノに、

さくもつ

さんの作物ができるように、

ゆた

そしてまた、たいへん豊

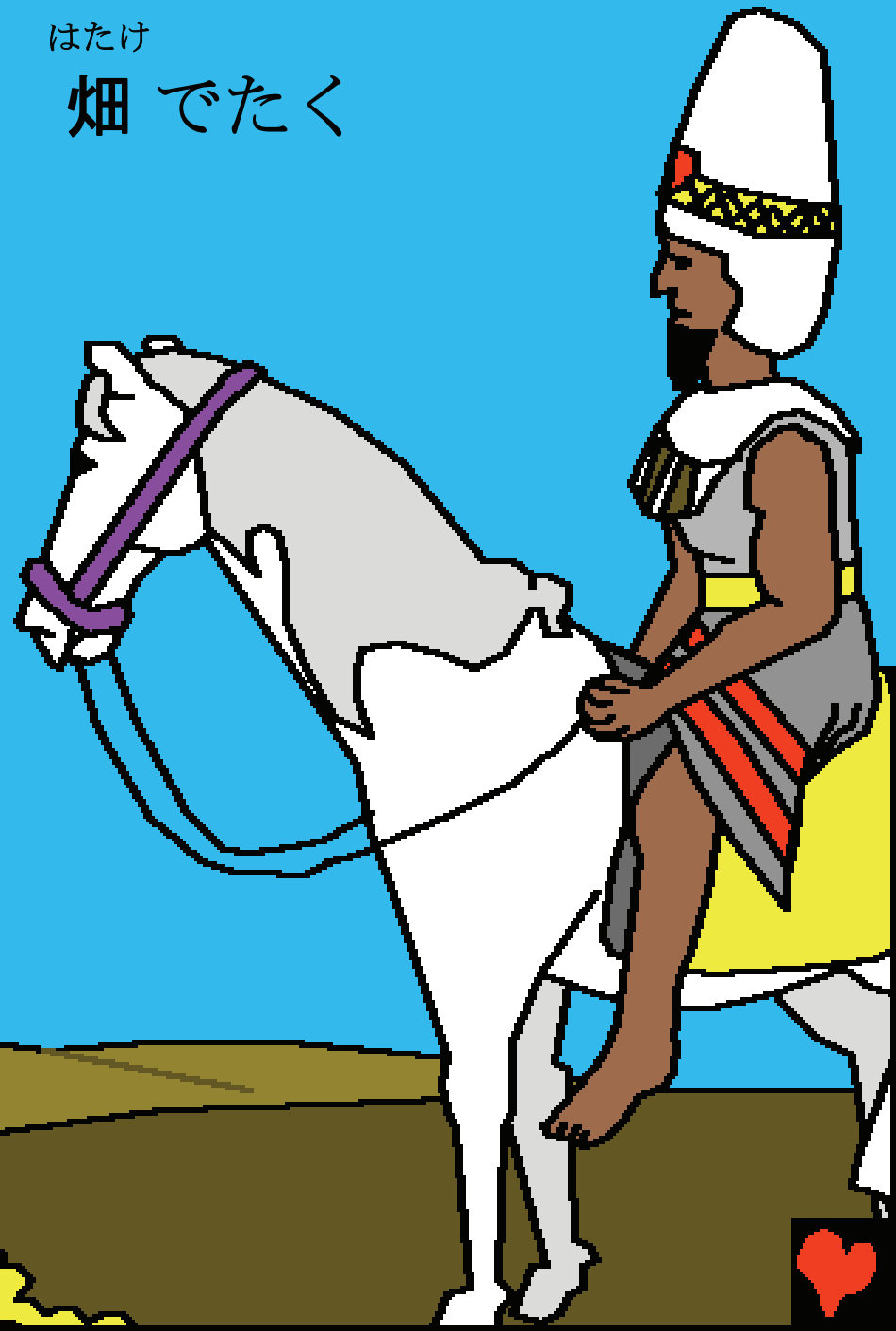
かにくらせるようにして

くださいました。ヨセフ

のおかげですね。

はたけ

畑でたく



くに

たいせつ ひと

いまや、この国でとても大切な人となつたヨセフですけれど、いつ

か かみ しん

も変わらず神さまを信ら

つか

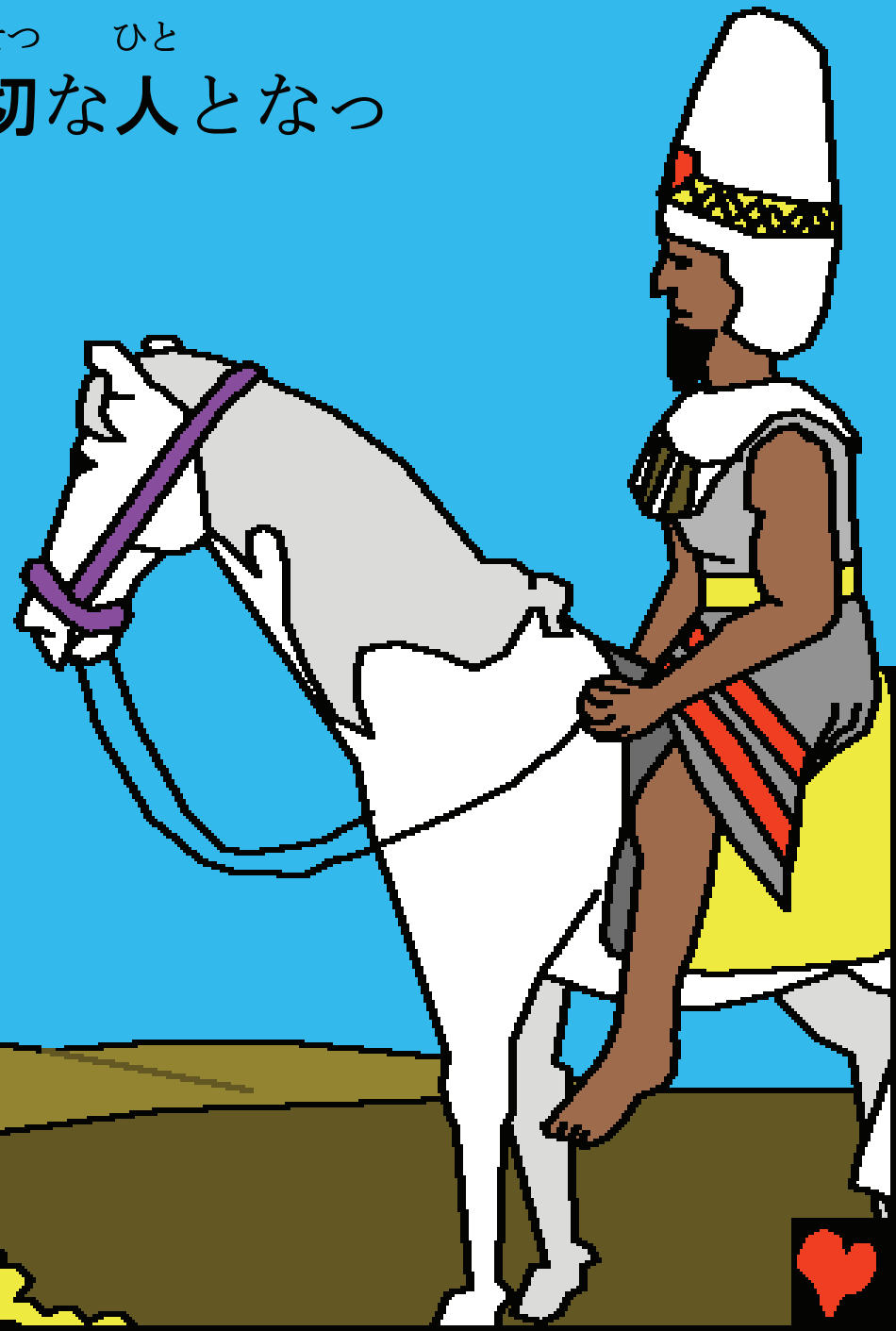
いし、仕えていました。

ところがね、ヨセフに、

こま

たいへん困ったこと

がおこりましたよ。



ポティファルのおくさんは、

ひと

よい人ではありません
でした。



かのじよは、ヨセフに**自分の夫**ポティファルのかわり
をするように**言**いました。
もちろん、ヨセフは
ことわりました。



ヨセフは、ポティファルによくないことをして、

かみ

つみ

神さまに**罪**をおかすつも

りはありませんでした。

あるとき、おくさんは

い

ヨセフにむりやり**言**

いよってき

ました。



そと
かれは、外へうまくにげましたよ。ところが、おく
さんは、ヨセフの服を、
しっかりつかんでいま
したので、服だけの
こってしま
いました。



わたし

「あなたのどれいは、私にいたずらしようとしたのです。」ポティファルのおくさんは、このようにヨセフの

ことをいいました。「さあ、^み見てくださ
いよ。ここにヨセ

^{ふく}フの服がある
から。」



それを見て、ポティファルは、たいそうおこりました。
でも、もしかしたらかれは、^{じぶん}自分のおくさんが、
^しうそをついているって知っていたか
もしれませんね。

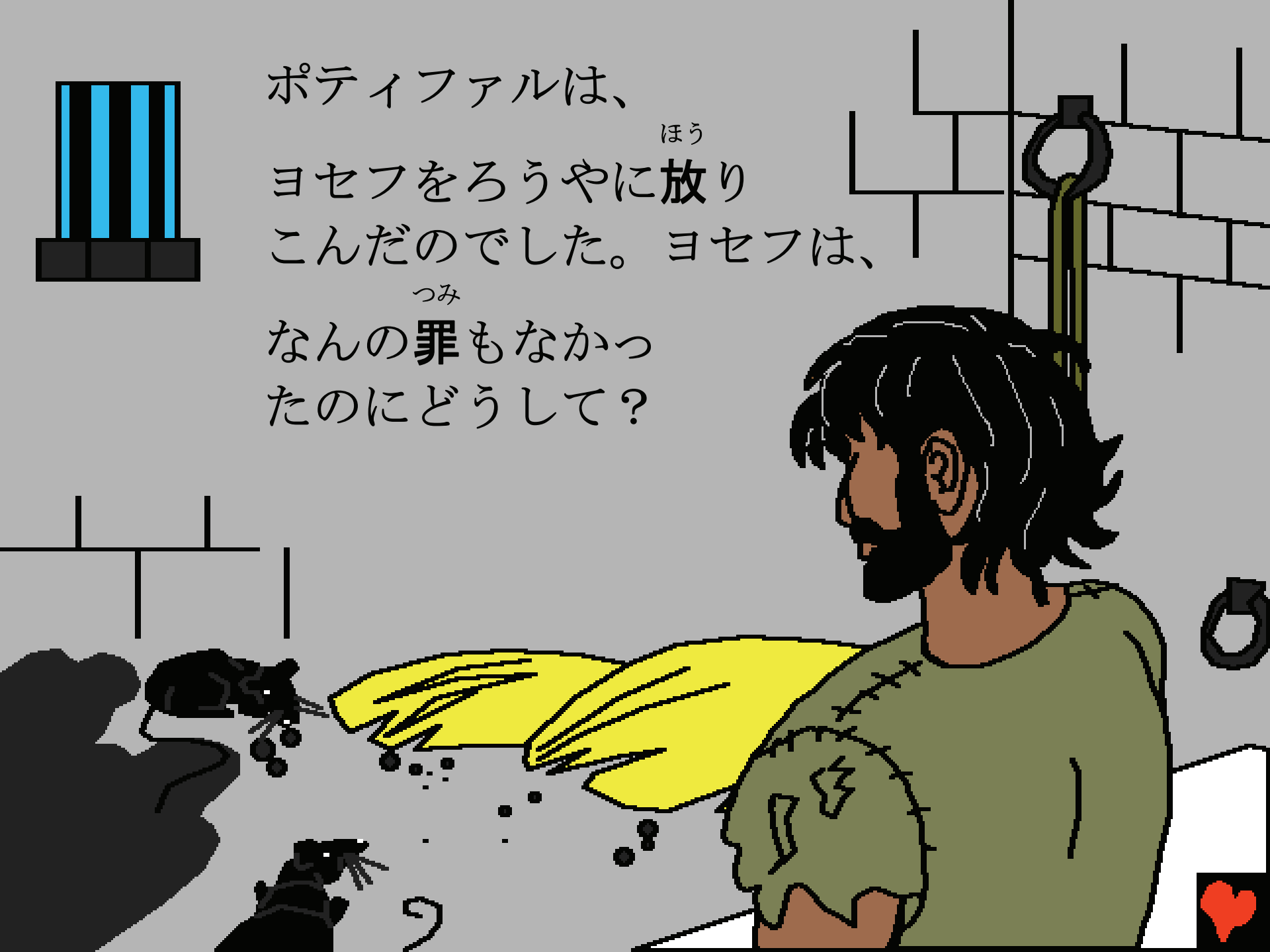
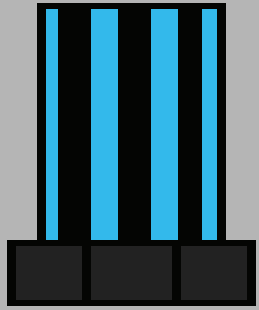


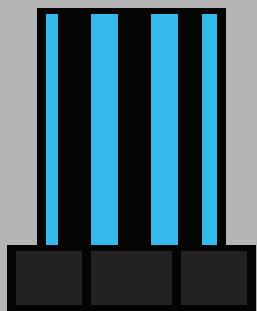
けれども、とにかくポティファルは、
なにかしなければなりませんでした。

いったいかれは、
どうするつもりなのでしょうね。



ポティファルは、
ヨセフをろうやに^{ほう}放り
こんだのでした。ヨセフは、
なんの^{つみ}罪もなかつ
たのにどうして？



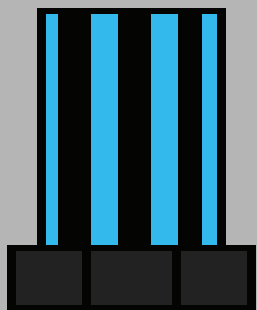


でもかれは、そのことで、
おも
つらく**思**ったりおこつたり
はしませんでした。

くる
たぶんヨセフは、今までの**苦**し
かったできごとから、いろい

まな
ろ**学**んできたからなのでしょうね。





つまりね、たとえどこに

かみ

いたとしても、いつも**神**

だいいち

さまを**第一**にしていれば、

かみ

神さまは、かならずまもって
くださるだろうって。たとえ、

なか

ろうやの中でもね。



むすこ
一ばんかわいい息子が、どれいに

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 37 章 - 39 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

